

平成 29 年 1 月 行事予定

- 1 日 元旦
- 4 日 仕事始め
- 9 日 成人の日



今月の標語

人生は喜びに溢れている
それを発見するのは感謝の心である

安全衛生管理計画

安全重点目標

- 不安全行動の撲滅
- 重機災害の防止
- 第三者災害の防止

重点対策

- KY活動の積極的参加
- 重機足場の滑動予防
- 誘導員の適切な配置



交通安全

ドライブ前の心構え

- ① 自動車の点検・整備を行いましょ(燃料・バッテリー・ウォッシャー液等の確認)
- ② 冬道走行の為の装備品(タイヤチェーン・牽引ロープ・スコップ等)を確認しましょ
- ③ 万が一に備え、水や食料、防寒具などを携行するようにしましょ
- ④ 携帯電話は充電しておきましょ(予備バッテリーがあると便利)
- ⑤ 目的地に到着するように余裕を持った予定を立て、予定到着時刻や予定ルートを家族や訪問先に予め知らせましょ
- ⑥ 目的地までの天気・道路状況を、テレビ・ラジオ・携帯電話等で確認しましょ
- ⑦ 大雪や地吹雪で視界が悪く、運転が困難だと思う時は、出発時間の変更や公共交通機関の利用を検討しましょ

新年のご挨拶

代表取締役 松島 信春

皆様におかれましては近年にない穏やかな新春をお迎えられたことと存じます。当社にとって、今年は創業53年目を迎える事ができました、これまで築き上げてこられた先輩諸兄と職員関係者皆様に感謝を申し上げます。

昨年は、日ハムの優勝とコンサドーレの一軍に昇格、北海道新幹線の開通と乗客の多さに喜び包まれましたが、本道に4つの台風が上陸・接近し56水害を超えました。また、昨年暮れまでに近年稀に見る大雪となり排雪を余儀なくなりました。近年多くなりましたゲリラ豪雨、当社の役割の仕事に心得、これからますます増える地域の要望をとらえ地域の安全・安心や経済・雇用を支えて行きたいと思っております。

私どもは地域のニーズに応え、いつでも技術と技能の研鑽に励んでいなければ成りません、市民が安心して住む事の出来る町づくりに励みます。建設業界はますます地域との絆を引き締めて役割と信頼を果たさなければ成りません、良い技術と技能で地域から認められる会社だけが生き残ることが出来るのです。私たち職員は技術と技能を絶えず、研鑽し社会資本整備が国土強靱化に繋がる公共工事の一躍と成ることをお誓いいたします。

自社製品技術の特長を活かし他社との差別化を進めると共に社員従業員の技術・技能を高め自社製品の品質を向上させ、若者から魅力のある物づくりの職場を実現し、地域から必要とされる会社作りを目標に成長し続けなければならないと考えています。

当社の今年の目標は、良い製品を作り新しい製品にも果敢に挑戦する、お客様、地域から信用を頂ける会社となる事、従業員が幸福を感じる会社を目指します。社員従業員一丸となり、技術・技能の研鑽に励み頑張りますので皆様のご協力をお願い致します。

最後になりましたが、市民の皆様、そして当社の協力会社の皆様、当社社員従業員家族皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶を申し上げます。



年 頭 所 感

技術部長 島 功

新年あけましておめでとうございます。

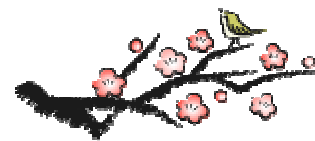
昨年は未曾有の災害に多くの方々が被災され、今なお復旧・復興に苦しんでおります。松島組従業員一同、ここに謹んでお見舞い申し上げます。平成29年度予算は、「経済・財政再生計画」2年目の予算、経済再生と財政の健全化の両立を実現するという政府予算案が、平成28年12月22日に閣議決定されました。予算額は平成28年度当初予算より7,329億円多い974,547億円、公債依存度は35.6%に対して35.3%となっています。

公共事業関係費については、安定的な確保（5兆9,763億円）を行い、その中で①豪雨、台風災害を踏まえた防災・減災害対策。②民間投資を誘発し日本の成長力を高める事業などへの重点化を推進する。国庫債務負担行為の活用により、公共事業の施工時期を平準化し建設現場の生産性向上（2か年国債を倍増、ゼロ国債の設定）を目指すとしています。

インフラの維持・管理に深く関わる我が社はこのような社会情勢を受け、国民の安全・安心を堅固なものとするための技術の研鑽は基より、市民のニーズを把握し市民からの期待に応え得る企業となるべく努力を重ねてゆく所存であります。



現場だより



「山里は雪降りつみて道もなし今日こむひとを哀とはみむ」（平 兼盛）年末はまさにこの歌のごとくでしたが平成29年の日の出は穏やかなものとなりました。1月5日は「小寒」日の出は7時07分、20日は「大寒」日の出は7時00分と日は少しずつ長くなりますが、寒さは真っ盛りです。

皆様におかれましては風邪やインフルエンザに十分配慮いただきますようお願い申し上げます。そんな中でも松島組従業員一同は気を緩めることなく除雪出動に備え、万全の態勢を整えています。



千歳川河川事務所区域内堤防維持外工事は、12月の作業は伐木除根工の音江別川左岸・右岸の伐採木の搬出作業を主に行い、工事区間の4.0kmを19日に終了することができ、重機用仮設取付道路の撤去作業も終了いたしました。

今年度は8月の台風や11月・12月の1度に降る量では記録的な降雪があり、河川維持作業を行う上で、工事の工期が2月10日まで延期となり突発的な作業にも対応できるよう備えている中、18日に十勝地方清水町で鳥インフルエンザが発生し大量の大型土のう袋が必要になり970枚を監督員の指示で夜間に現地に運搬も行っております。

1月は設計変更の伐木除根工（祝梅千歳市街）の4,000m²と駒里防災ステーション内の敷砂利作業1,500m²を行い工事終了です。現場は仮設の撤去等、片付けを含めて1月27日終了の予定で計画していますが、除雪業務との並行作業になり、冬季の河川工事で厳寒な状況が予想されますので、風邪対策も行って冬型の災害予防を行いながら安全に工事を進めていきます。



伐木積込運搬作業



伐採作業



大型土のう袋運搬作業



大型土のう袋運搬作業



大型土のう袋運搬作業



今期の除雪業務が一度にドカッと降り二日連続の除雪が11月に一度、12月にも一度と大変厳しい業務となっております。作業従事者にとってはきつい作業となっております。幸いにして物損・人身事故が無くホッとしておりますが、三月末日迄の間はまだまだ気の抜けない日々が続きます。

今シーズンからGPSが導入され、管理体制が強化されるようなので、良い方向に進んで欲しいのと、シーズン終了まで無事故で終れるよう全員で取り組んでいきます。



グレーダー路線 & 間口処理



千歳出張所管内河川等維持管理業務は50年ぶりの降雪ということで恵庭市内も雪の捨て場がなく、河川に投雪されている箇所が多く見かけられます。昨年、降雪の多い地方で河川への投雪で河幅が狭くなり、増水した融雪水が民家の床下浸水を招く事故が多発しました。今までの積雪量に加え今後の降雪が多くなれば恵庭市街でも同様の事故が発生する可能性も否定できません。

河川パトロールではこのような事態にならないよう状況の把握に努め、成長した河畔林が河道を狭窄するなど、融雪期に水位の上昇が懸念される箇所についても監視を怠らず、危険回避のための対策を検討してまいります。